

第49期（2026年3月期） 決算補足資料



STANDARD
TOKYO

アズマハウス株式会社

2026年 5 月15日

会社概要

会社名	アズマハウス株式会社
英訳名	AZUMA HOUSE Co., Ltd.
設立	1977年（昭和52年）5月2日
代表者	代表取締役社長 東 行男
本社所在地	和歌山県和歌山市黒田一丁目2番17号
従業員数	184名（連結268名）
資本金	5億9,676万円
取引所	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：3293）
株主数	3,459名（2026年3月31日現在） 発行済株式数 8,063,400株（2026年3月31日現在）
単元株数	100株 基準日 3月31日・9月30日
事業内容	不動産業、不動産賃貸業、建設業、ホテル業、飲食業、保険代理店業
連結会社	株式会社賃貸住宅センター、株式会社シージェーシー管理センター、 こうこく不動産株式会社、アズマファイナンシャルサービス株式会社



社長挨拶（トップコメント）

当社グループにおける第49期（2026年3月期）（2025年4月1日から2026年3月31日）の業績は、前年同期と比較して減収減益となりました。なお、修正後の業績につきましては、計画通り推移する結果となりました。

当社グループの展開する各事業を取り巻く環境については、少子高齢化の加速、顧客ニーズの多様化に加え、物価上昇に伴う人件費・光熱費・原材料等の高騰により今後も厳しい状況が継続するものと想定されます。

不動産・建設事業においては、建築費及び造成工事費などの資材原価の高騰、住宅ローン金利の上昇及び実質賃金の低下などにより消費マインドを低下させる要因に加え、お客様ニーズの多様化により想定以上に受注が低下したことで、当初予算からの下方修正を実施することとなりましたが、修正後のセグメント売上及びセグメント利益につきましては、修正後の計画通りの結果となりました。また、販売価格の見直し、原価管理を実施し、受注残につきましては、受注残件数及び受注残金額ともに例年通りにまで持ち直すこととなりました。今後もお客様ニーズを敏感に反映し、住まいに関わる派生事業あるいは関連事業を事業領域と捉え、更なる業績の向上に努めてまいります。

不動産賃貸事業においては、当社グループのメイン事業として、家主としての賃収入増加に最大限の注力を図り、収益構造の安定化を実現してまいります。また、セグメント間及び事業間でのシナジー効果を最大限まで活かし、安定した入居率の確保と資産価値の向上を踏まえたオーナー様への提案などを強化し、セグメント売上及びセグメント利益ともに計画通りの結果となりました。また、加盟するエイブルネットワークにおいて5年連続仲介件数全国第1位の店舗として表彰していただき、高い入居率を獲得する大きな要因となりました。今後もオーナー様一人ひとりとの対話を大切に行い、資産価値の向上とお客様ニーズとのバランスを考慮した提案を積極的に行うことで、高水準な入居率の確保と維持を実現し、業績の向上に努めてまいります。

資産活用事業においては、アパートローン金利の上昇や資材原価の高騰による利回りへの影響が賃貸経営に不安を抱き、購買意欲に歯止めをかける状況ではございましたが、高い入居率と安定した利回りの確保を実現することで、修正後のセグメント売上およびセグメント利益につきましては、計画通りの結果となりました。今後も多様な情報チャネルを活用し、セグメント間シナジー効果やワンストップでの事業展開のメリットを活かし、資産活用の提案ができるように努めてまいります。

ホテル事業においては、3ホテルの稼働率については、前年を少し下回る結果となりましたが、柔軟に室料を変更し、適正価格で販売いたしました。また、飲食店舗については、原材料原価や物価の上昇の影響を受け、来客数は、前年を少し下回りましたが、商品ラインナップの変更などを行い、お客様単価の向上に努めました。その結果、セグメント売上は、ほぼ計画通りとなったもののセグメント利益は少し下回る結果となりました。今後も原材料の高騰及び物価の上昇が予想されておりますが、品質の維持に努め、お客様サービスの向上とリピータの確保に努めてまいります。

私たちは、住まいと暮らしの安全・安心をご提供することで、地域社会の発展に貢献するとともに地域の皆様に愛され信頼される企業を目指し、お客様と共に歩んでまいります。また、「人も環境も健康に」を実現するため、事業活動において可能な限り、サステナビリティに取り組んでまいります。

引き続き、皆さまの温かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



アズマハウスは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

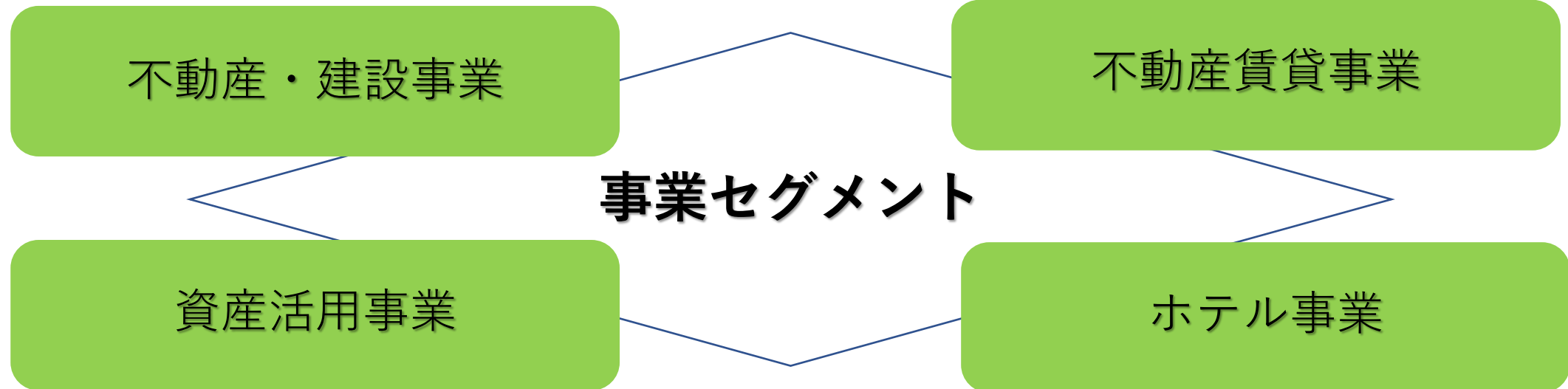
事業概要

～経営理念～

私たちアズマハウスは、全ての分野において「より大切に、より迅速に、すべてはお客様のために」をモットーに、商品の品質・性能・お客様への対応・サービスの向上は無限と考え、徹底してこだわり、お客様満足を徹底的に追及していく所存であります。

～サステナビリティ基本方針～

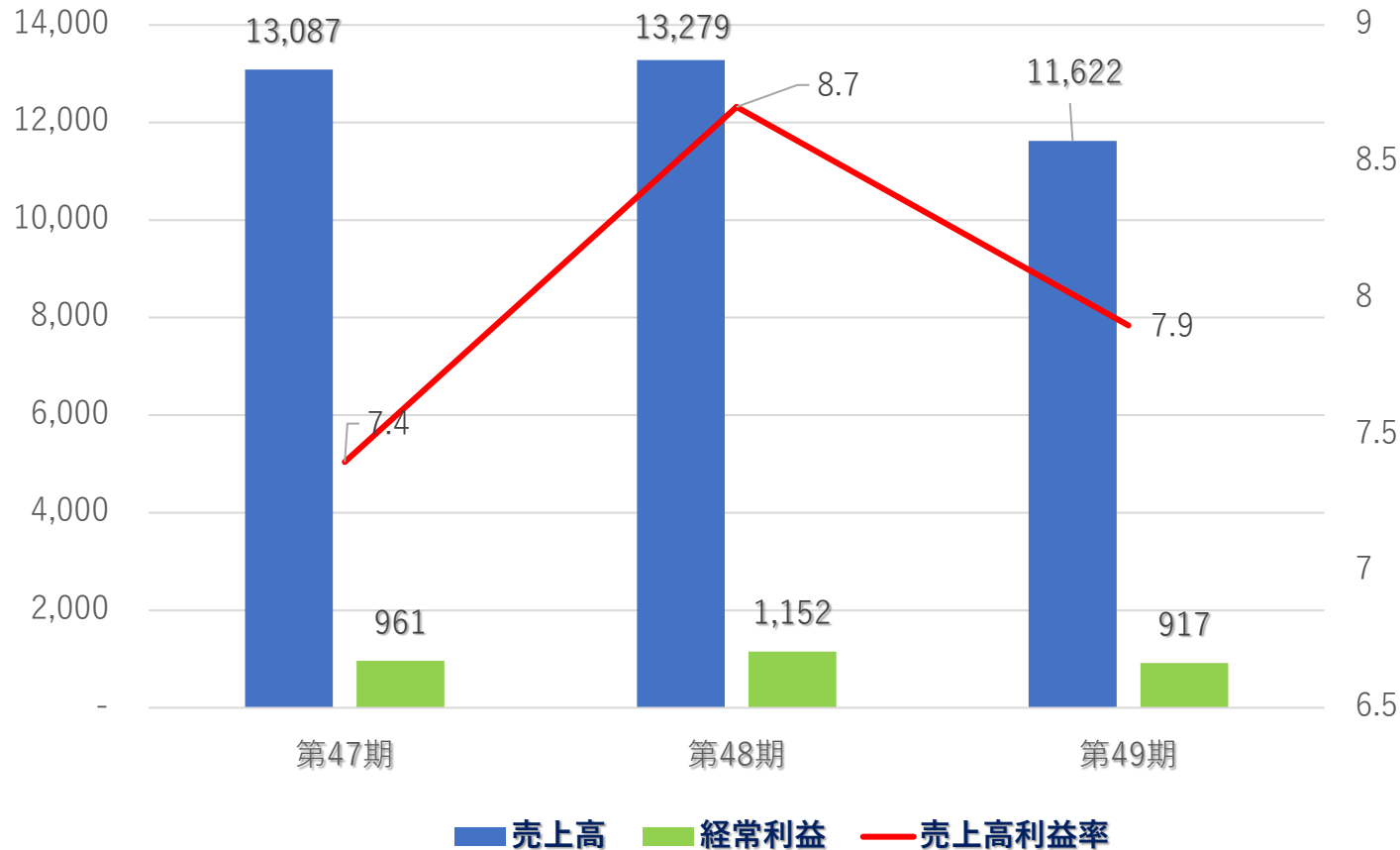
「人も環境も健康に」



連結決算（サマリー）

売上高・経常利益・売上高利益率の推移

（単位：百万円）



第49期売上目標 11,430百万円

第49期経常利益目標 900百万円

売上高 11,622百万円
（予算比101.68%）

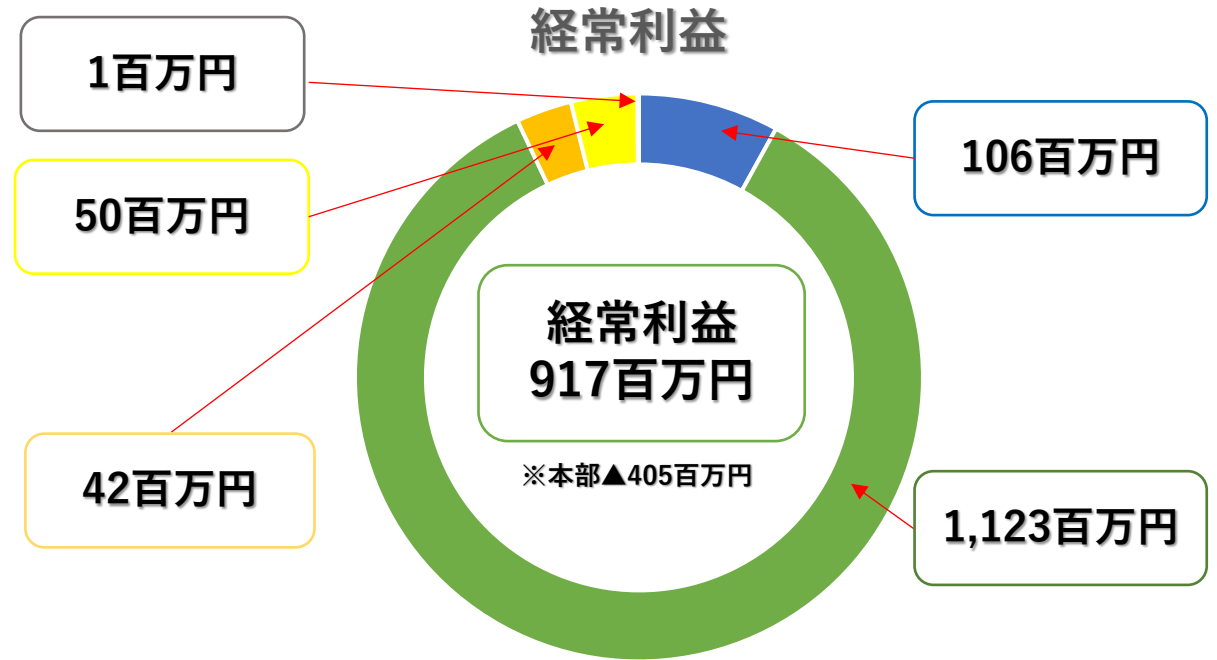
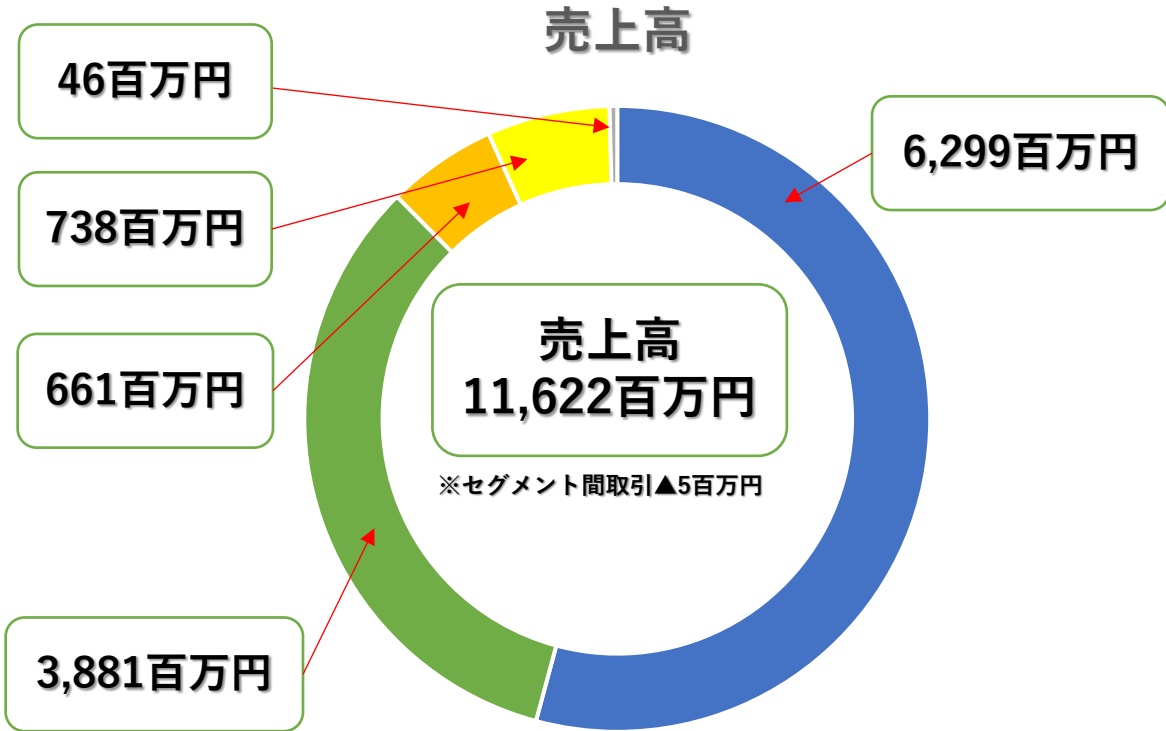
経常利益 917百万円
（予算比101.96%）

売上高利益率
7.9%
（目標8.0%）

※2026年2月13日付けで業績予想を修正いたしました。

連結決算（セグメント比）

※セグメント売上及び利益は、セグメント間取引を含んでいます。



- 不動産建設事業
- 不動産賃貸事業
- 資産活用事業
- ホテル事業
- その他

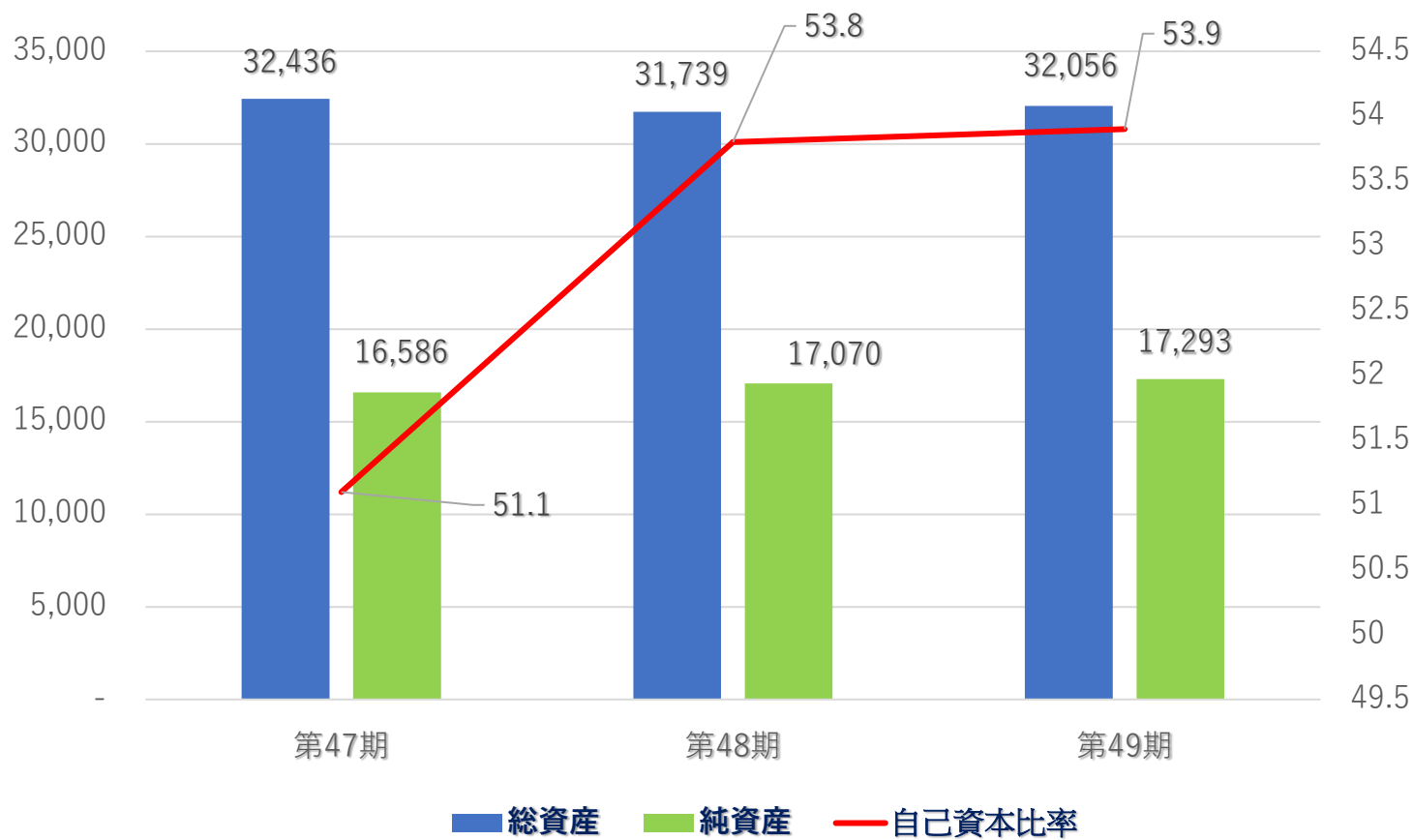
- 不動産建設事業
- 不動産賃貸事業
- 資産活用事業
- ホテル事業
- その他

※本部は、セグメントに帰属しない人件費及び管理部門の一般管理費です。

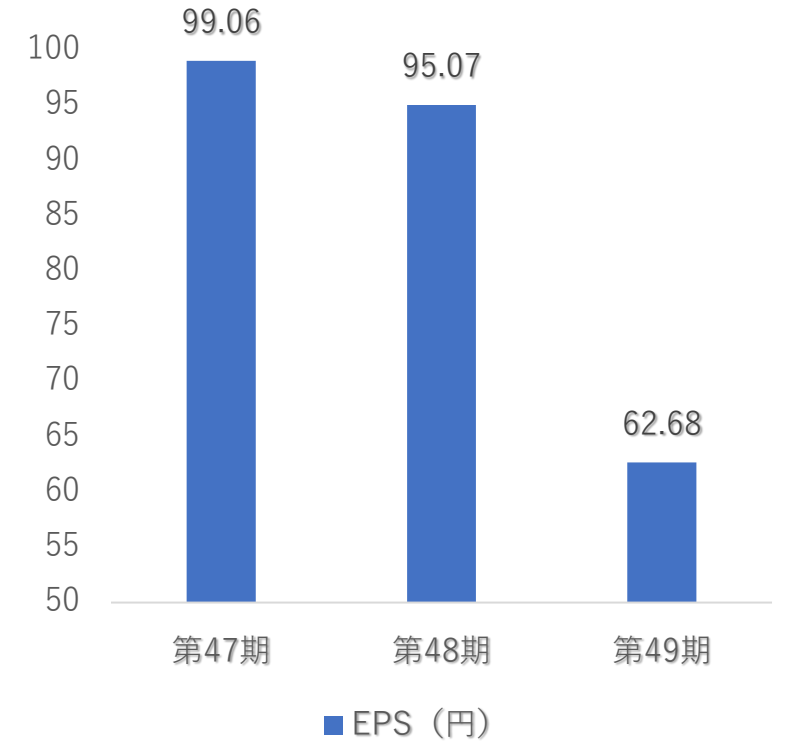
連結決算（サマリー）

総資産・純資産・自己資本比率の推移

（単位：百万円）



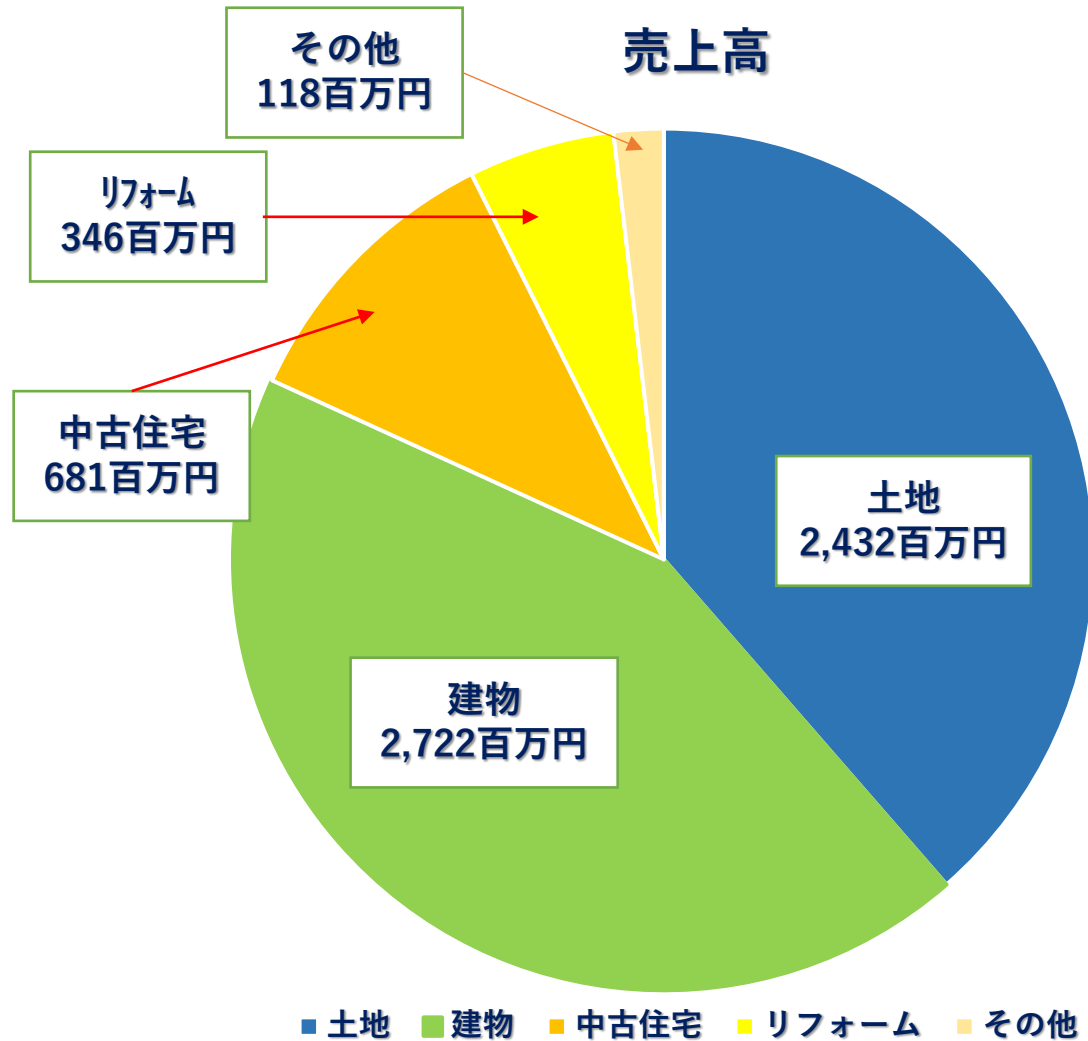
1株当たりの純利益（EPS）



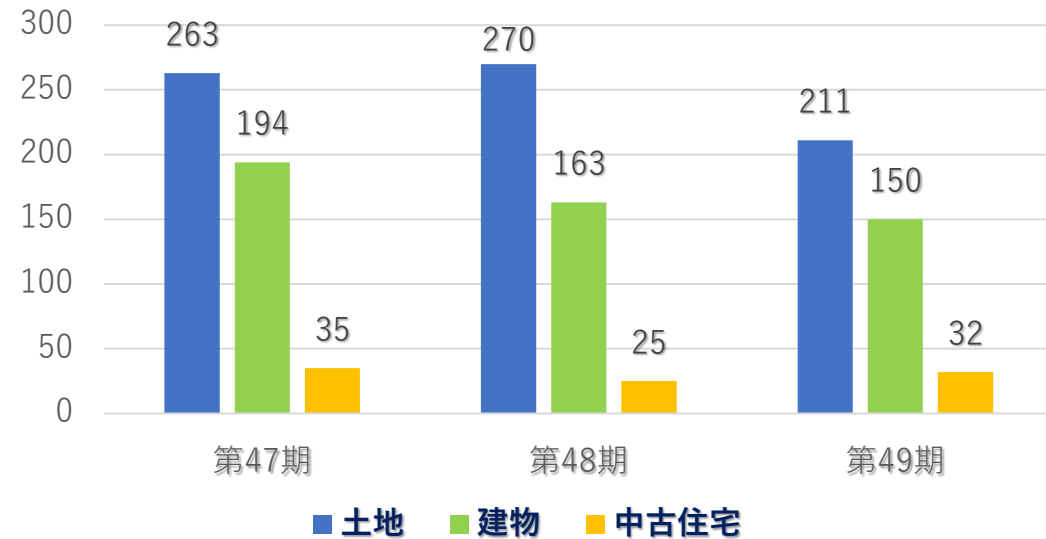
セグメント別実績（不動産・建設事業）

セグメント売上高6,299百万円
 （セグメント予算：6,100百万円）
 （前年同期比80.5%：予算比103.3%）

セグメント利益 106百万円
 （セグメント予算利益：84百万円）
 （前年同期比33.5%：予算比125.0%）



売上件数推移

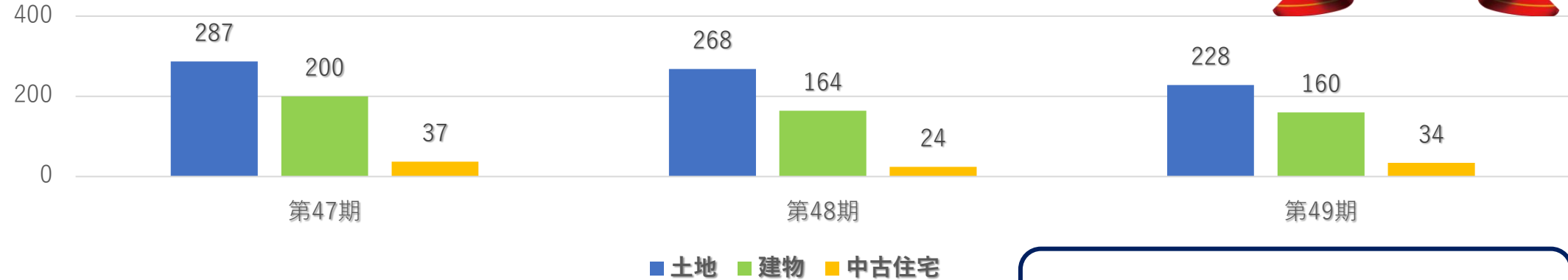


セグメント別実績（不動産・建設事業）

受注件数・受注残件数推移

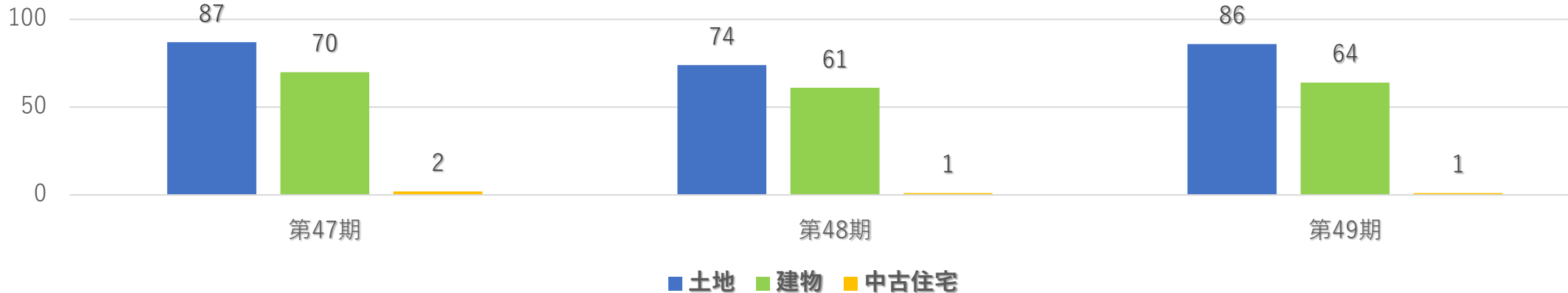


受注件数の推移



受注残額は、前年比133.90%

受注残件数の推移

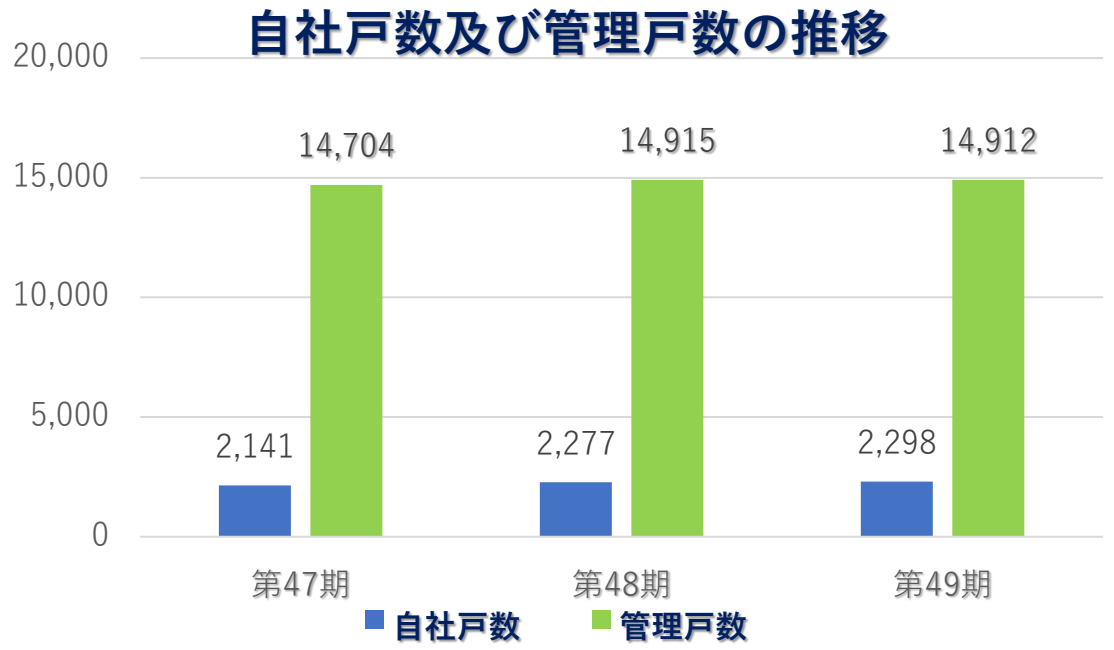
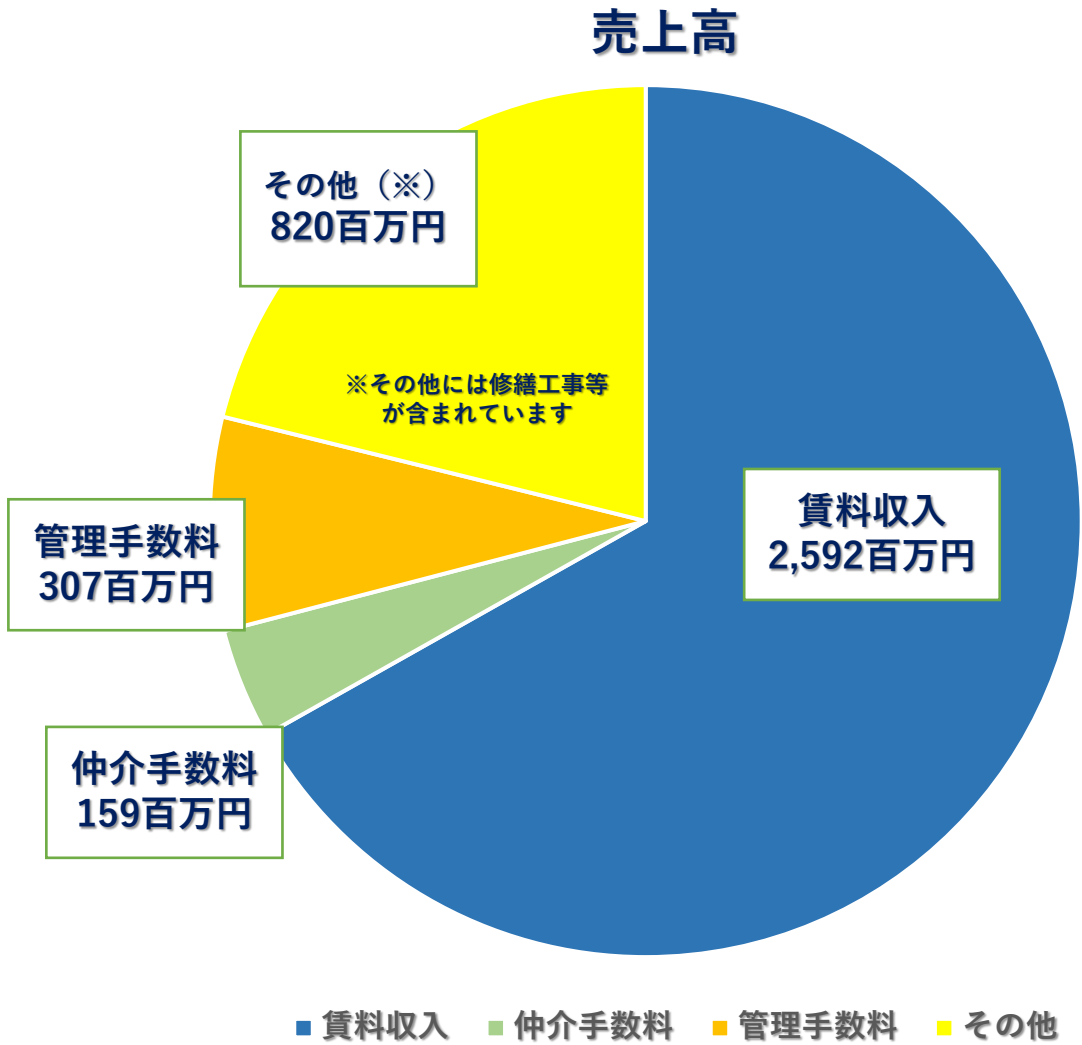


セグメント別実績（不動産賃貸事業）

自社入居率 95.29%

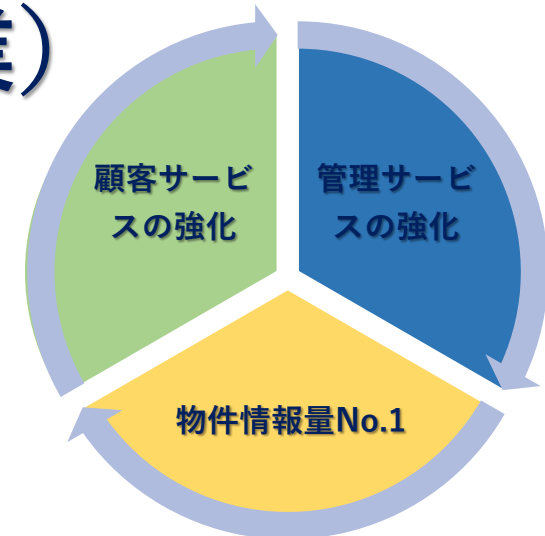
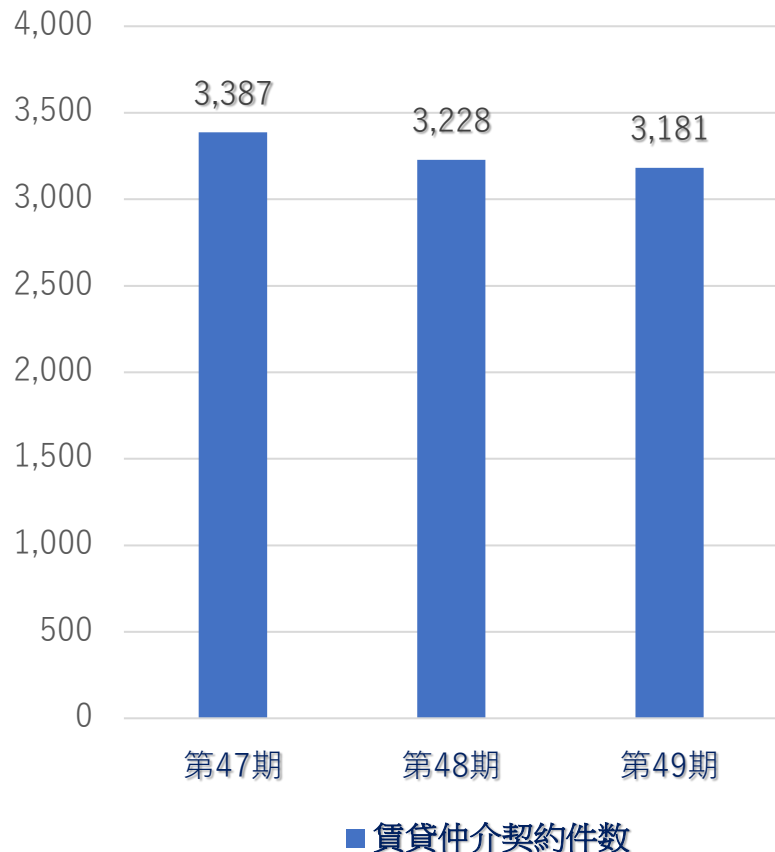
セグメント売上高 3,881百万円
 (セグメント予算:3,921百万円)
 (前年同期比101.5%：予算比99.0%)

セグメント利益 1,123百万円
 (セグメント予算利益：1,130百万円)
 (前年同期比105.8%：予算比99.4%)



セグメント別実績（不動産賃貸事業）

賃貸仲介契約件数の推移



管理物件入居率
86.17%

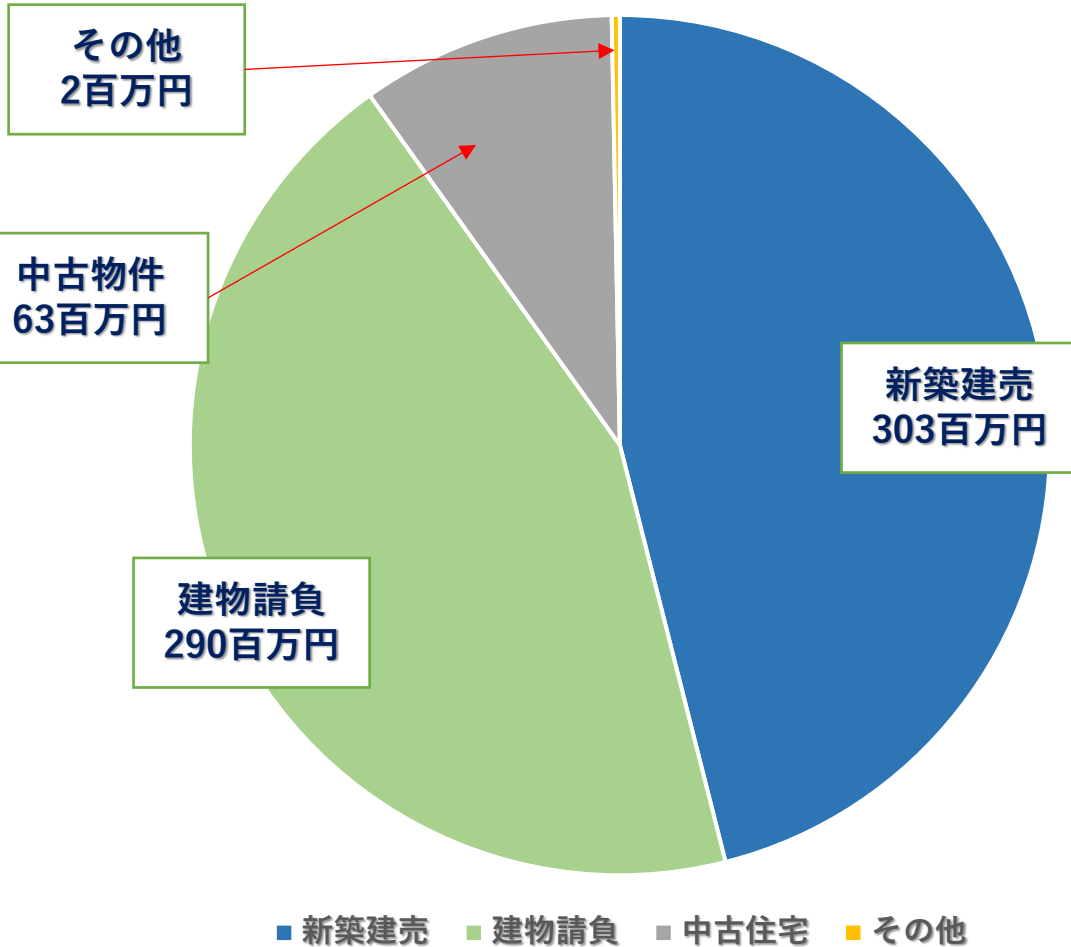
Alliance Information

和歌山県職員労働組合/和歌山市職員互助会/和歌山県農協連専属提携/和歌山大学生協専属提携/県立医科大学生協専属提携/近畿大学生物理工学部指定/高野山大学専属指定/和歌山信愛大学専属指定/東京医療保険大学和歌山看護学部専属指定/和歌山信愛女子短期大学専属指定/宝塚医療大学和歌山保健医療学部/和歌山リハビリテーション専門職大学/県立高等看護学院/大原学園和歌山校/和歌山コンピュータービジネス専門学校/和歌山国際厚生学院/和歌山英数学館/和歌山YMCA国際福祉専門学校/和歌山口頭美容専門学校/IBW美容専門学校（順不同）

セグメント別実績（資産活用事業）

売上高・売上件数

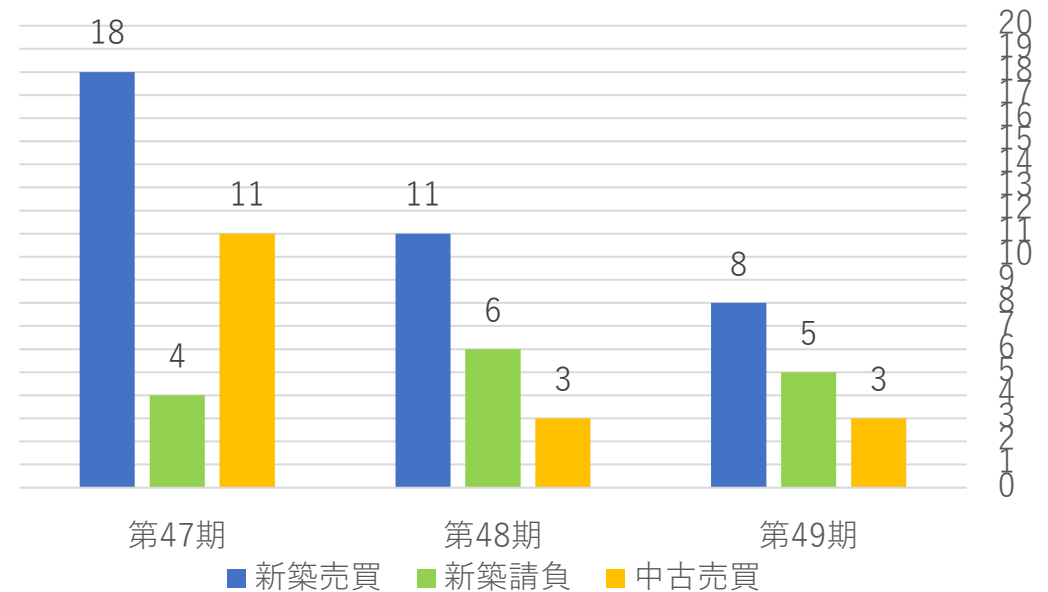
売上高



セグメント売上高 661百万円
 (セグメント予算：626百万円)
 (前年同期比78.0%：予算比105.7%)

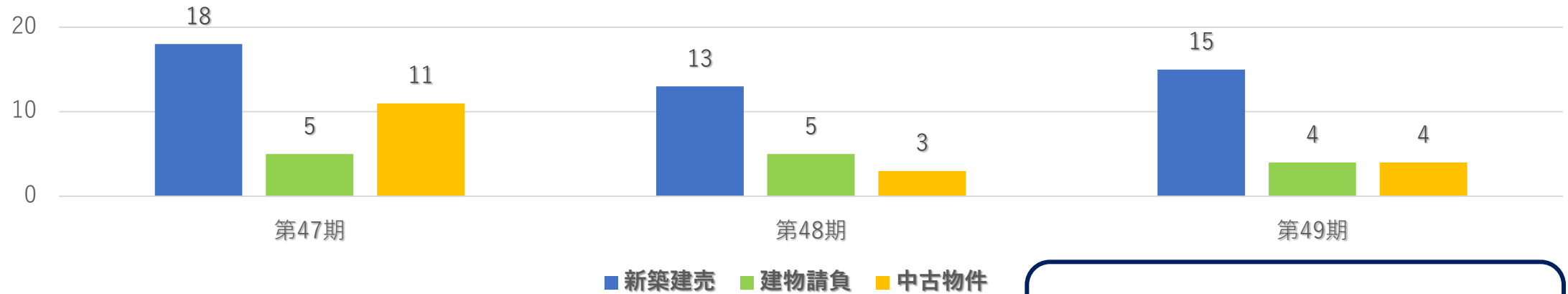
セグメント利益 42百万円
 (セグメント予算利益：41百万円)
 (前年同期比48.5%：予算比103.8%)

売上件数推移



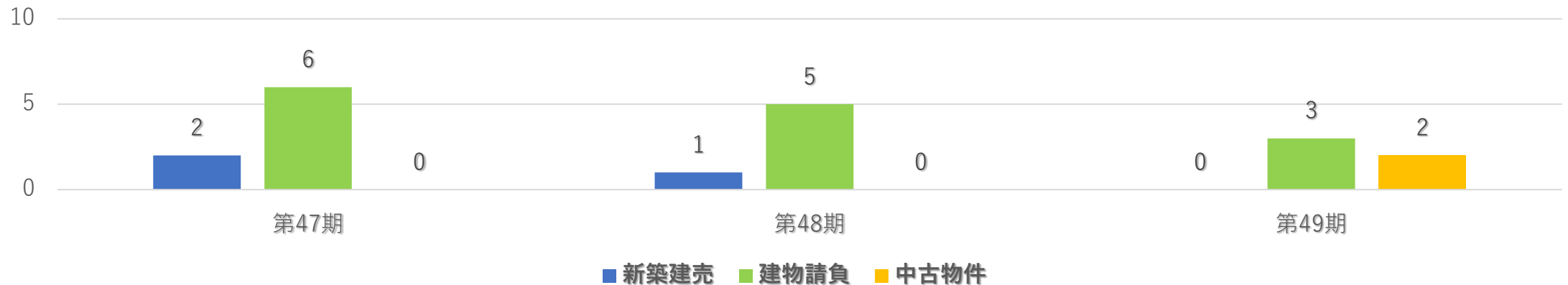
セグメント別実績（資産活用事業）

受注件数の推移

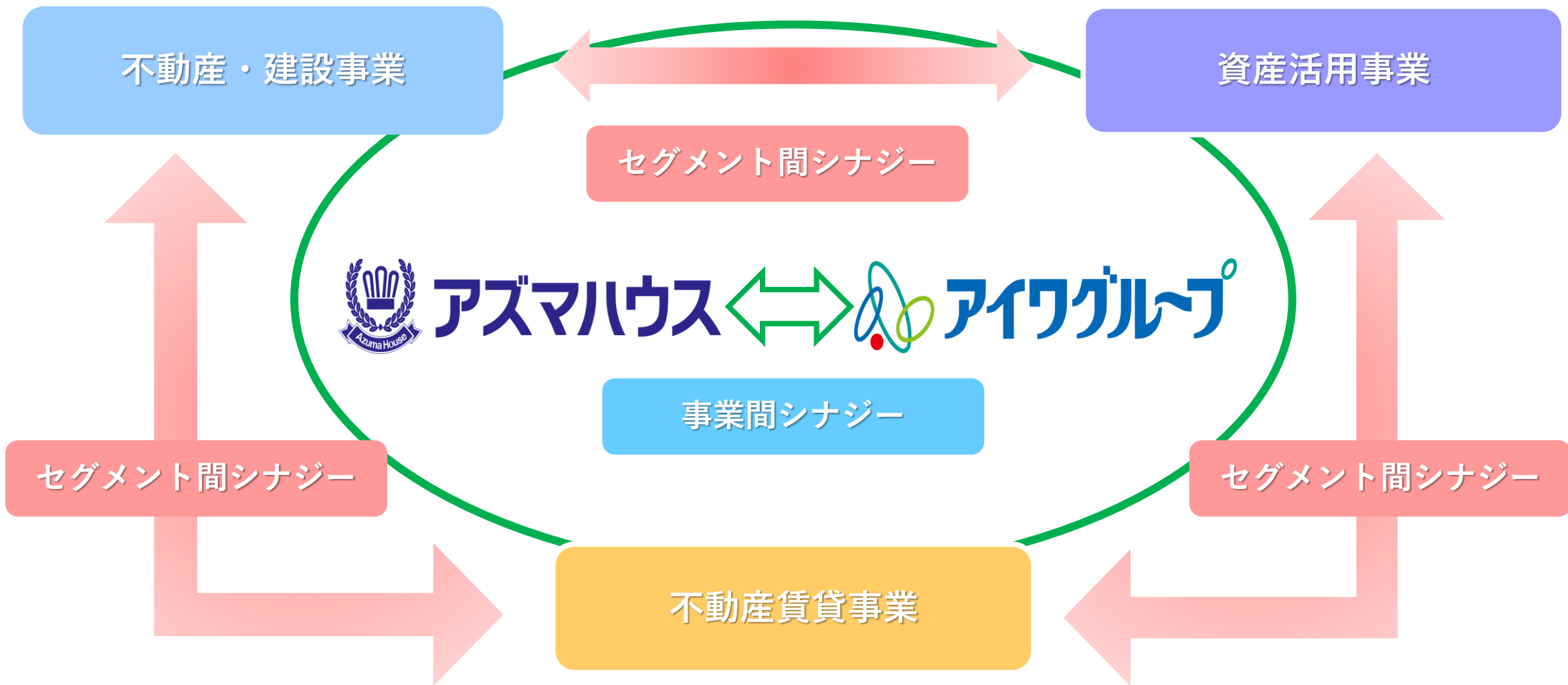


受注残額は、前年比88.74%

受注残件数の推移



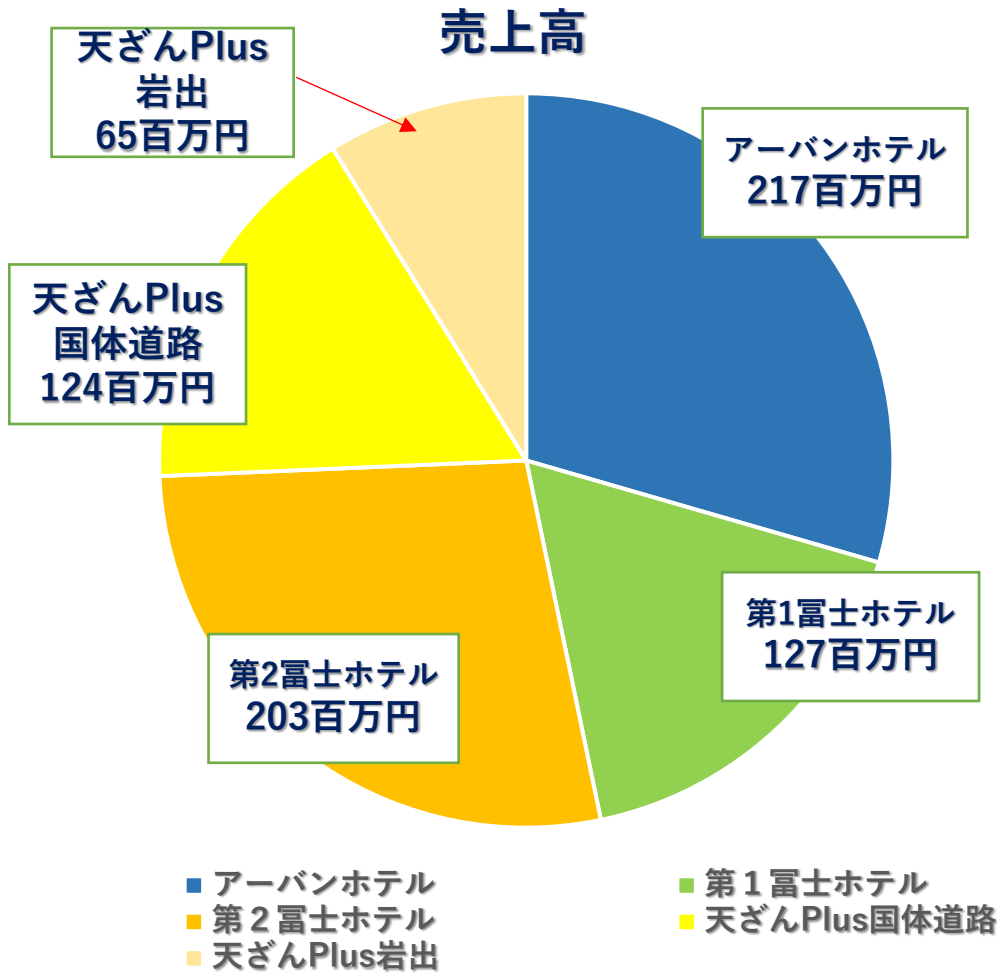
セグメント間シナジー



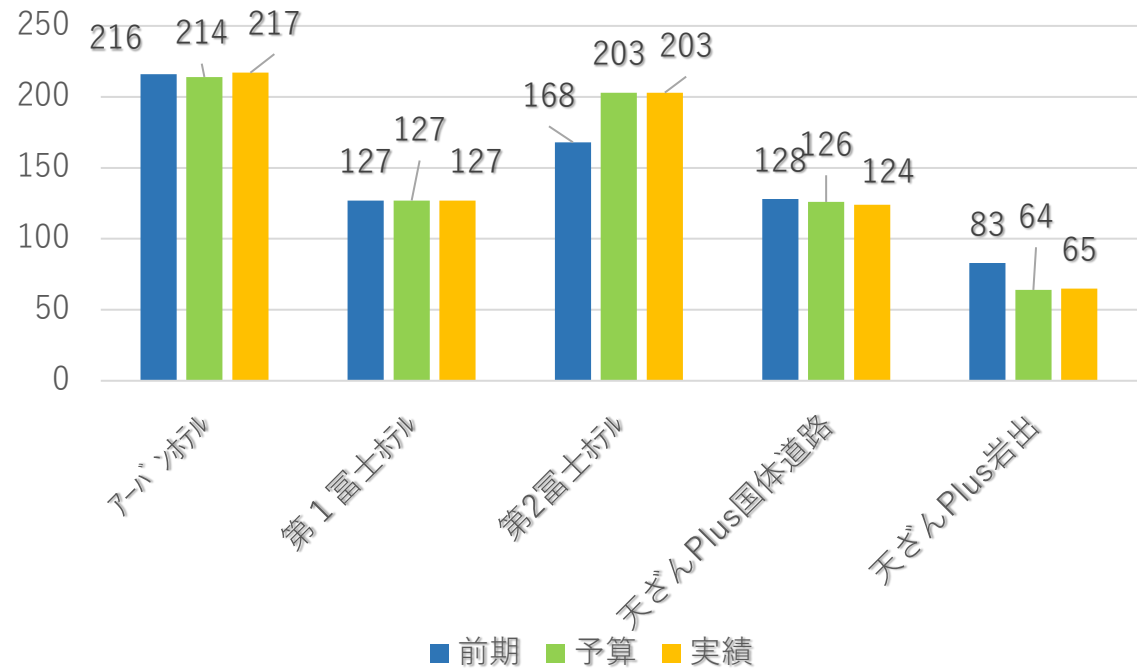
セグメント別実績（ホテル事業）

セグメント売上高 738百万円
 (セグメント予算：736百万円)
 (前年同期比102.0%：予算比100.3%)

セグメント利益 50百万円
 (セグメント予算利益：52百万円)
 (前年同期比56.3%：予算比95.8%)



売上高の推移 (単位：百万円)





ESG

マテリアリティ

取組テーマ

取組内容

SDGs



住み続けられるまちづくり

リノベーションによる長く住み続けられる家づくりを通じて、社会課題となっている空き家増加の解決に取り組み、住み続けられるまちづくりに貢献

中古住宅再生事業、ストック事業の推進



住環境の向上

高水準な性能等級を有する住宅の建築やリノベーションなどによる性能向上を通じて住宅の耐震性能、省エネ性能、断熱性能を向上し、環境にも健康にもやさしく、長く住み続けられる家づくりを実践

耐震等級3レベルを実現した地震に強い家づくり、環境にやさしい太陽光発電の販売促進、断熱性向上によるヒートショック等の健康被害防止

地域社会への貢献

地域社会の活性化に関連するイベントなどを通じ、雇用の促進や青少年育成のための支援活動を積極的に取り組み、持続的な地域社会の構築に貢献

こども食堂の運営、学童軟式野球大会の特別協賛、全日本ドッジボール選手権和歌山県大会の特別協賛、一般社団法人和歌山県サッカー協会オフィシャルスポンサー、「アルテリーヴォ和歌山」プラチナスポンサー、「ONELYS wakayama」オフィシャルパートナー、「和歌山ジャズマラソン」協賛、「和歌山城クリテリウム2025」の協賛、和歌山大学ソーラーカープロジェクト(BWSC2025)の協賛、「和歌山ではたらく車大集合！」メインスポンサー、日本赤十字社の活動支援、宇宙事業及び宇宙教育活動への支援、ドリームデイ・アット・ザ・ズー2025inアドベンチャーワールドの協賛、パートナーシップ構築宣言、第49回全国育樹祭わかやまへの協賛



人権

ハラスメント禁止や働き方改革の実践により生産性向上を図りながら働きやすい職場環境づくりの取り組み

「わかやま健康づくりチャレンジ運動」への参加、「健康経営優良法人2025（中小規模法人）」の認定、「あいサポート企業」の認定、男性・女性社員にかかわらず育児休業を取得できる体制づくりと推奨、小学校就学前の子を養育する社員の時間短縮勤務、半日単位での有給休暇制度の整備、一般事業主行動計画の策定、セキュリティアクション2つ星（自己宣言）、コーポレートガバナンス、コンプライアンス



セキュリティ対策自己宣言

記載情報について

- ・本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- ・将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識されたうえで、ご利用下さい。
- ・本資料は、投資家の皆様がいかなる目的に利用される場合においても、お客様自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

本資料に関するお問い合わせ
アズマハウス株式会社 経営企画部
電話 073-475-1018
E-Mail : ir_kanri@azumahouse.jp
URL : <https://azumahouse.com>